


食育事業取組報告書(藤塚小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	令和4年6月～11月
教科名	学活・家庭科	指導者	1年～6年 担任
単元名	「全校 弁当の日」にむけて		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が弁当作りにかかわることで、食生活や健康への興味・関心を高める。</li> <li>・弁当の献立作成や調理をととして、食や家族への感謝の気持ちを養う。</li> <li>・6年生は、一人で弁当を作ることができる。</li> </ul>		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	<p>◇保護者に向けて、取組の説明と協力をお願いをする。(11月に文書で)</p> <p>◇6月～11月に各学年で、食育指導を行った。                  1年生 食育出前講座「やさいはかせになろう」                  2年生 食育出前講座「お弁当の詰め方を考えよう」                  3年生 食育出前講座「大豆の変身」                  4年生 食育出前講座「おいしそうな弁当を作ろう」                  5年生 食育出前講座「食量生産について考えよう」                  6年生 食育出前講座「おい・い・し・そ・う・な弁当を作ろう」☆調理実習</p> <p>◇11月21日(月)「全校 弁当の日」実施                  ・工夫したことや頑張ったこと、感想をカードに書いた。                  ・互いの弁当を見合い、その後会食した。</p> <p>・弁当の写真、工夫したことや頑張ったこと、感想を書いたカードを家庭に持ち帰り、保護者からコメントを記入してもらった。                  ・個別懇談会に合わせて、児童玄関に全校児童の弁当の写真を掲示した。</p>	<p>・「弁当の日」の取組は、家庭の協力が必要であるため、学年便りでも取組の趣旨を伝え、協力を依頼した。                  ・各学年で、学校で弁当作りにつながる食育指導を実施した。</p> <p>・児童の弁当づくりの取組の内容                  1年生: 弁当の食材をお家の人と一緒に買いに行く。                  2年生: 弁当のおかずをお家の人と一緒に詰める。                  3年生: お家の人と栄養バランスを考えた弁当のおかずを考える。                  4年生: 弁当のおかずを1品作る。または、作るのを手伝う。                  5年生: 自分でおかずを2～3品作る。または、作るのを手伝う。                  6年生: 一人で弁当を作る。</p>	 <p>4年「おいしそうな弁当を作ろう」</p> <p>主菜・副菜のカードを組み合わせて、お弁当のメニューを考えました。弁当の日のお弁当作りにつながった。</p>
成果と課題	<p>○「全校 弁当の日」の取組が2年目になり、保護者からの協力が得やすくなった。                  ○昨年度から、作った弁当についてカードを書いたり、写真を掲示したりしてきたことで、弁当作りへの興味・関心が高まってきた。                  ○児童が弁当作りにかかわったことで、「おいしい」だけでなく、栄養のバランス、家族への感謝の気持ちなどいろいろな思いをもつことができた。                  △児童への意識付けに事前指導が十分つながっていなかった学年もあった。保護者への全校便りだけでなく、学年便りでも、弁当の日の意義を知らせ、学年の取組内容について周知する必要があった。</p>		
家庭・地域との連携	<p>・親子で一緒に弁当作りにかかわることを通して、触れ合うよい機会になった。                  ・高学年のきょうだいが調理したおかずを詰めて来た低学年の児童もいた。きょうだいの調理する様子を目にした経験は、今後の弁当作りへの関心につながる。</p>		